



↑ ① 宇都宮で催されるスポーツの世界大会

わかるかな？

下の三つは、宇都宮のプロスポーツチームのエンブレムです。それぞれのチームが行っているスポーツの種類を答えましょう。



() () () ()

3 スポーツのまち 宇都宮

ことば

◆ 都市ブランド

自都市と他都市を差別化し、「住んでみたい、住み続けたい、会社を置きたい、訪れたい、買ってみよう」という気持ちを誘引する機能(付加価値)を備えた良好な都市のイメージを指します。

見るスポーツ



©TOCHIGI BREX INC.

支えるスポーツ



©TOCHIGI SC

するスポーツ



©Astemo 宇都宮ブリッツェン

↑ ② 様々なスポーツの親しみ方

▶ まちを元気にするスポーツの魅力

スポーツには、地元のプロスポーツチームを観戦するなどの「見るスポーツ」、スポーツイベントなどにボランティアとして参加するなどの「支えるスポーツ」、自ら取り組む「するスポーツ」があり、市民がこうした様々な形でスポーツに親しむことにより、心身の健康づくりはもちろんのこと、地域への愛着意識の醸成や地域コミュニティの活性化につなげることができます。

また、プロスポーツチームの存在・活躍やスポーツイベントの開催は、都市ブランドの向上や地域への誘客促進にもつながります。

このようにスポーツには、まちを元気にしてくれる多様な力があります。宇都宮のスポーツが、市民の生活とどのような関わりがあるのかを調べていきましょう。



「お父さんは、週末になると栃木SCのユニフォームを着てサッカーを楽しんでいるよ。」



「家族で、宇都宮ブレックスの試合を観戦するんだ。盛り上がって、声がかれてしまう時もあるよ。」



「自転車の世界大会が宇都宮で行われていて、家族がボランティアスタッフをやったことがあるよ。」

学習問題

宇都宮のスポーツは、市民の生活とどのような関わりがあるのだろうか。



▶ 宇都宮のプロスポーツチーム

宇都宮市には、宇都宮をホームタウンに活動するプロスポーツチームが多数あります。プロスポーツチームは、試合などのパフォーマンスや地域貢献活動などを通して、観客やファンに夢や感動をあたえるとともに、経済の活性化や青少年の健全育成など、宇都宮市全体に様々な効果をもたらしています。

1 栃木SC^① (サッカー)

宇都宮市に本拠地を置いた最初のプロスポーツチームです。1947(昭和22)年に発足し、1994(平成6)年に「栃木サッカークラブ」と改称しました。栃木県を代表するサッカーチームとして活動し、2009年からJリーグに参戦しています。

2 宇都宮ブレックス^② (バスケットボール)

2007年6月に「栃木ブレックス」として発足しました。2009-2010シーズンにはJBL初優勝を果たし、日本の新たなトップリーグであるBリーグが始動した2016-17シーズンには、初代王者に輝きました。2019(令和元)年7月に現在のチーム名称になり、2024-25シーズンには、3度目の優勝を果たしました。



「宇都宮ブレックスの会場は、いつも盛り上がっているけど、どんな努力をしているのかな？」 → p.88、89

3 Astemo 宇都宮ブリッツェン^③ (サイクルロードレース)

2009年1月に日本初の地域密着型プロサイクルロードレースチームとして発足しました。国内で開催されるレースをはじめ、アジアNo.1のチームを目指して海外の大会にも積極的に参戦しています。毎年10月に宇都宮で開催される宇都宮ジャパンカップサイクルロードレースでは、地元チームとしてレースを盛り上げています。

4 ホンダヒート^④ (ラグビー)

1960年に本田技研工業株式会社鈴鹿製作所の同好会として発足しました。発足当初から三重県鈴鹿市を拠点に活動し、2021年に新たに発足した日本最高峰のリーグであるジャパンラグビーリーグワンに参戦、2023-24シーズンからトップカテゴリーのディビジョン1に所属しています。

2026-27シーズンから主たる活動拠点を宇都宮市に移転することを表明しています。



↑ ① 栃木 SC

©TOCHIGI SC



↑ ② 宇都宮ブレックス

©Astemo 宇都宮ブリッツェン



↑ ③ Astemo 宇都宮ブリッツェン

©Astemo 宇都宮ブリッツェン



↑ ④ ホンダヒート

©ホンダヒート

2

魅力あふれる宇都宮——スポーツのまち 宇都宮



↑ ① FIBA 3x3 ワールドツアー



↑ ② 宇都宮ジャパンカップロードレース



↑ ③ 宇都宮ジャパンカップクリテリウム



↑ ④ ダンスのようす

▶ 宇都宮で催されるスポーツの世界大会

宇都宮市は、3人制バスケットボールの「FIBA 3x3 ワールドツアー」や自転車ロードレースの「宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース」などの魅力的な大規模スポーツイベントを開催しています。

① FIBA 3x3 ワールドツアー

3x3は、1チーム3人、1試合10分、ハーフコートでプレーする、新しいバスケットボールであり、東京2020オリンピック競技大会の正式種目に採用されたことにより、人気が高まっています。

宇都宮市では、2016年から3x3のクラブチームの世界一を決定するツアー形式の世界大会「FIBA 3x3 ワールドツアー」を開催しており、2022(令和4)年からは、「FIBA 3x3 ワールドツアー」の開幕戦である「宇都宮オープナー」を開催しています。



3x3のイベントを開催することで、宇都宮にはどんな効果があるのだろうか？ → p.91



宇都宮二荒山神社の前で、大会が行われていたけど、なぜあそこで行われたのだろうか？ → p.91

② 宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース

「宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース」は、1992(平成4)年から毎年10月に開催されている大会です。

市内大通りをハイスピードで周回する「クリテリウム」と1日で勝者を決めるワンデイレースとしてはアジア最高位の「ロードレース」が開催され、世界で活躍するトップクラスのプロ選手による真剣勝負を間近で観戦できます。



宇都宮ジャパンカップを観に行っただけど、すごい数の人が観戦していたよ。どのくらいの人に来ていたのだろうか？ → p.90



宇都宮ジャパンカップには、多くのボランティアスタッフが参加しているよ。スポーツイベントを支える楽しみもあるよ。 → p.90

▶ Sport in Life UTSUNOMIYA ～スポーツを通してみんなが 輝き つながる 魅力的なまち～

宇都宮市では、スポーツを通して、みんなが輝き、つながる魅力的なまち「Sport in Life UTSUNOMIYA」の実現を目指しています。市民の誰もが「ひとり1スポーツ」に留まらず、多種多様なスポーツを楽しむために、どのような取り組みを行っているのでしょうか。

① 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとは、地域住民が主体となって運営する地域密着型のスポーツクラブです。地域スポーツクラブは、子どもから高齢者まで無理なく活動できるよう運営されていて、グラウンド・ゴルフやダンスといった種目も用意されています。



私の家の近くにある総合型地域スポーツクラブでは、どんな種目があるのかな？ 市のホームページで調べてみよう。



総合型地域スポーツクラブに、学校の部員も参加しているよ。部活のOBからも教えてもらえるから、とても充実した活動になっているよ。 → p.93

② 市民が参加できるイベントの創出

市立の体育館やプールなどでは、市民が参加できるスポーツ教室等を開催しています。また、宇都宮マラソン大会やニュースポーツ大会などのイベントも開催しており、特に、ライトラインの沿線走るコースがある宇都宮マラソン大会は、多くの方が参加しています。



宇都宮マラソン大会では、ランナーだけでなく、他にもたくさんの方が参加しているよ。どのような人がいるのかな？

③ 自転車のまちを目指して

関東平野に位置し市街地を中心に平坦地が広がる宇都宮は、自転車に適した環境で、「見て楽しい」「乗って楽しい」自転車のまちとしての高いポテンシャルを持っています。

宇都宮では、自転車を気軽に安心して楽しんでもらうために、自転車走行空間の整備やレンタサイクル事業の実施、宮サイクルステーションの運営、自転車の駅の設置など、全国に誇れる「自転車のまち宇都宮」を目指しています。



自転車のまちを目指して、宇都宮ではどのような取り組みが行われているのだろうか？ → p.92

クラブ名	場所	活動種目
スポーツかわち「ship」	吉里中学校体育館内	陸上競技など13種目
友遊いずみクラブ	泉が丘小学校体育館内	健康体操など39種目
NPO横川スポーツクラブ	横川中学校体育館内	グラウンド・ゴルフなど12種目
いきいきエンジョイ清原	清原中学校体育館内	ソフトテニスなど13種目
ジョイスポしるやま	城山中学校体育館内	卓球など7種目
豊郷元気！スポーツクラブ	豊郷中学校体育館内	スラックラインなど13種目
特定非営利活動法人クラブワタナベ	開東小学校内	バドミントンなど20種目
ちゅんちゅんさわやかスポーツクラブ・雀宮	雀宮地区市民センター	バドミントンなど8種目
みゆきスポーツクラブ「MIYUKI」	御幸小学校内	卓球など10種目

↑ ⑤ 宇都宮市にある 主な地域スポーツクラブ



市HP「地域スポーツクラブ」▶



↑ ⑥ 宇都宮マラソン大会



宇都宮マラソン大会ホームページ▶



↑ ⑦ 自転車専用通行帯



↑ ⑧ 宮サイクルステーション

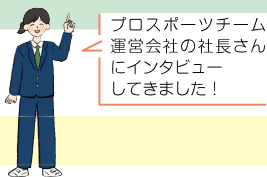
まとめる ひろげる



宇都宮市は、プロスポーツチームの振興と国際大会の開催に取り組むスポーツのまちです。地域に根差したチームの活躍は、観戦による喜びや感動、応援による一体感をもたらします。また、選手との交流やスタジアム、アリーナなどの存在は、子どもたちの夢や目標、地域経済の活性化、生涯スポーツへの関心や健康増進の支えになるなど、地域への誇り(シビックプライド)の醸成につながる事が期待されています。

機会があれば、観戦したり、ボランティアに参加したりして、多様なかわり方を楽しんでみましょう。

宇都宮のプロスポーツの秘密に迫る!!



プロスポーツチーム
運営会社の社長さん
にインタビュー
してきました!

栃木SCとは、どんなチームなの?



株式会社栃木サッカークラブ
代表取締役社長 橋本大輔さん



▲ 栃木SCホームページ

● 栃木SCには、長い歴史があると聞きましたが、どんな歴史があるのですか?

栃木SCは、70年以上前に学校の先生方が作ったチームが母体となっています。先生方は「サッカーを好きになってもらいたい」、「サッカーに夢をもってもらいたい」、「地域のサッカーを盛り上げたい」という思いをもって活動していたと聞いています。プロチームになった今でも、その熱い思いを大切に、引き継いでいます。

● 栃木SCが大切にしていることは、何ですか?

先生方が作ったチームですので、「教育」や「地域貢献」を大切にしています。ジュニアからユースまでのチームを作り、サッカーを通じて世の中に役立つ人材を育てるとともに、各小中学校でサッカー教室を行う

など、サッカーの普及にも努めています。また、将来的には、栃木SCの練習会場を整備し、そのグラウンドをまちの人々に貸し出すなど、選手とまちの人々が交流できるようにしたいと考えています。プロサッカー選手は身近な存在であると感じてもらいたいですし、「家族」のように応援してもらえると嬉しいです。

● 栃木SCのどんなところを見てもらいたいですか?

栃木SCは「KEEP MOVING FORWARD」という合言葉をもとに戦っています。「前に進み続けよう」という意味です。栃木SCは、J3になってしまったこともあったし、赤字が続き経営が困難になってしまった時もありました。それでも、みんなの協力のもとに、現在もJリーグという舞台でサッカーを続けることができています。ぜひ、その「前に進み続ける」ことの大切さを、皆さんに伝えることができればいいと思います。皆さんも人生において、困難なことに直面し、挫折しそうになることがあるかもしれません。そんな時に、みなさんに勇気をあたえたり、元気をあたえたりすることができるサッカーチームになりたいですね。

Astemo 宇都宮ブリッツェンは、どんなところでどんな活動をしているの?



サイクルスポーツマネージメント
株式会社 代表取締役社長
柿沼 章さん



▲ Astemo 宇都宮ブリッツェンホームページ

● Astemo 宇都宮ブリッツェンは、どんなチームですか?

Astemo 宇都宮ブリッツェンは、自転車のプロチームとしては、日本初の地域密着型チームとして誕生しました。宇都宮市が長年にわたって開催している宇都宮ジャパンカップがチーム発足のきっかけでもあり、自転車のまち宇都宮だからこそできたチームです。

企業型のチームが多い中、大きな経営母体がないので、最初は資本金も少なく経営するのは大変でしたが、今では国際レース等にも多数出場し、「日本」だけでなく「世界」とも戦える強いチームとなりました。

● どんな努力をしてきたのですか?

大切にしてきたことは、地域貢献活動です。自治体との協力のもと、自転車のイベントを開催したり、学校で自転車安全利用教室を開いたりするなど、自転車文化の発信に努めてきました。その結果、約150社程

度のスポンサー様に支えられながら経営をしています。また、宇都宮市は「自転車のまち」を目指したまちづくりをしているので、その協力をしています。宇都宮ジャパンカップの運営はもちろんのこと、道路の自転車通行帯の整備やサイクリングステーションの整備についても協力しています。自転車文化を広めたいという点では、Astemo 宇都宮ブリッツェンの経営方針と宇都宮市の方針はピッタリと一致しています。

● Astemo 宇都宮ブリッツェンのどんなところを知ってもらいたいですか?

自転車競技は、レースも練習も皆さんが通る普通の道路で行います。だから、一番身近なプロチームといっても過言ではありません。もし、練習しているところを見かけたら、気軽に声をかけてくださいね。実はレースもお金を払うことなく観戦できます(笑)。そんな身近で手軽で、興奮できるレースをぜひ見てもらいたいですね。また、自転車は子どもから高齢の方まで楽しむことができるスポーツです。「見るスポーツ」だけではなく、「するスポーツ」としても楽しめるので、もっとサイクルスポーツの魅力に気づいてもらえるように今後も努力していきたいです。

宇都宮ブレッズの試合には、なぜ観客が集まるの? 経営力大公開!



株式会社栃木ブレッズ
代表取締役社長
藤本光正さん



▲ 宇都宮ブレッズホームページ

● 宇都宮ブレッズの試合には、多くのファンが来場されると聞きましたが、どう感じていますか?

ホームゲームの入場者数は、5年間で約2倍のお客様が入場してくれるようになりました。リピーター率がかなり高いことも分かっているので、お客様に満足していただいております。ブレッズの試合を観戦する魅力が伝わっていると感じています。

● 入場者が増えた要因は何だと思いますか?

宇都宮ブレッズの経営理念に、「非日常のアリーナエンターテインメントを提供するチーム」という項目



を掲げています。バスケットボールの試合を楽しんでもらうことはもちろんのこと、それ以外の「付加価値」をつける努力をしています。特にエンターテインメント性の追求にはこだわっており、その工夫や努力をしてきたことが、入場者数増加の理由の一つだと思います。

● どんな努力や工夫をしてきたのですか?

1つ目は、思い切った投資です。非日常感を演出するために、ブレッズ独自で専用の照明や音響施設などの機械や設備を購入しました。照明や音響設備は、会場の雰囲気盛り上げるのに大変効果があり、リポ



2



3



4

ンビジョンやプロジェクションマッピングを使った演出は、お客様に大変好評です。2つ目は、体育館内の装飾です。ブレッズアリーナは市の体育館なので、普段は誰でも使える体育館になっています。その「普段」から、「非日常感」を味わってもらうために、毎試合ごとに体育館内を装飾しています。装飾には、ブレッズを支える裏方の人々を総動員して行いますが、なんと12時間もかかります。毎試合ごとに非日常感を演出するにはお金も時間もかかりますが、お客様をワクワクさせるための空間づくりには手を抜くことなくがんばっています。

● 特に力を注いでいることは何ですか?

一体感の演出です。5,000人近くの人々が何かを一緒にやるという体験は、普段の生活ではなかなか体験できないことだと考えています。チアリーダーの「ブレッシー」やファンの方々が一緒にできることを考えて、観客の皆さんも参加できるような企画を設け、試合を見るだけでなく、一緒に戦うことができるようにしています。ブレッズはBリーグ開幕後、リーグ最多となる3度の優勝をし、毎回の優勝記念パレードで、宇都宮市民とブレッズが一体となる素晴らしい体験ができています。また、優勝できるよう一丸となり戦っていきます。



宇都宮ジャパンカップの大会関係者にインタビュー



なぜ、宇都宮ジャパンカップが開かれるようになったのでしょうか？

宇都宮ジャパンカップは1990年にアジアで初めて宇都宮市で世界No.1の自動車ロードレース選手を決める「世界選手権自転車競技大会ロードレース競技」が開催されたことをきっかけに、**自転車を活用したまちづくりを進めるために1992年に創設されました。**



大会の担当者



どのくらいの人が集まるのでしょうか？

クリテリウムとロードレースあわせて、約13万人もの人が来場します。そして、その経済波及効果は、なんと35億円！約50%の人が県外から来ており、北海道や沖縄から観戦に来た人もいました。



大会の担当者



大会を運営する上で、大変だったことは何ですか？

会場が広域にわたってしまうので、交通整理や観客の整理などがとても大変です。そのため、大会関係者のほかに、ボランティアなど延べ1,100人以上の方々にご協力いただいております。まさに、宇都宮市民が一体となって大会を盛り上げています。



大会の担当者



大会を盛り上げるために、工夫したことはありますか？

自転車競技の場合は、観戦エリアが広がってしまうため、大型のビジョンの設置やコメンテーターによる解説を行い、レース全体を分かりやすく見てもらう工夫をしています。また、インターネットも利用したライブ映像の配信では、ドローンを使って空撮するなど楽しく観戦ができるよう工夫しました。



大会の担当者



大会では、ほかに催し物を行っていますか？

宇都宮市は、「自転車のまち」と呼ばれるよう努力してきました。だから、もっと自転車ファンを増やすために、大会に合わせて、子どもを対象にキックバイク大会を開催したり、市内小中学生を対象にパレードランを実施したりしています。自転車に乗る人が増えることは、環境にやさしい交通の利用や市民の健康増進につながるので、とてもいいことだと考えています。 → p.87



大会の担当者



FIBA 3x3 ワールドツアーの大会関係者にインタビュー



宇都宮市で開催される3x3の世界大会には、どのような特徴がありますか？

3x3は、5人制の半分の大きさのコートと、1つのバスケットゴールがあれば、屋内・屋外問わずどこでも試合会場にできるため、開催地の文化施設や有名な観光地で試合を行うことができます。宇都宮では、宇都宮二荒山神社の大鳥居前という、宇都宮を象徴する場所を会場としています。2016年に第1回が開催された宇都宮の大会には、毎年180以上の国と地域が参加する予選大会を勝ち抜いたトップチームが参戦し、その迫力あるプレーを観戦するため、国内外から多くの方が本市を訪れています。



大会の担当者



なぜ、3x3を二荒山神社の前で行ったのでしょうか？

宇都宮の魅力を最大限に生かせる場所として、FIBA（国際バスケットボール連盟）に大会会場として選ばれました。二荒山神社の鳥居をバックに3x3の試合が行われているのは、なかなかおもしろいと思いませんか？特に外国の人が見た時に、強烈な印象を受けると思います。大会では、会場を盛り上げるイベントとして、祭りがコートに神輿を担ぎこんだり、和楽器の演奏を行ったりして、日本らしさ、宇都宮らしさを出そうと工夫しました。



大会の担当者



どのくらいの人が集まるのでしょうか？

大会2日間で、80,000人も人が来場しました。そして、その経済波及効果は、7億9,000万円にもなります。この大会によって、宇都宮に多くのにぎわいが生まれています。また、この大会の様子は、YoutubeやSNSで世界に配信され、約870万回閲覧されるとともに、約100か国以上のテレビ局で大会の様子が取り上げられました。宇都宮市の名前を知ってもらう良い機会になりました。



大会の担当者



大会を盛り上げるために、工夫したことはありますか？

2025年は、宮みらいライトヒル等において、出場チームとの交流ができる「3x3 Fan Fest」や、各都県を代表する小学生を対象とした「3x3 Jr. CUP」などを同時開催しました。宇都宮市外の人を大勢呼びこむ効果を期待するとともに、会場間を移動してもらうことで、宇都宮のよさに気づいてもらったり、まちなかのにぎわいを出したりすることができると考えました。



大会の担当者

人物紹介

スポーツがまちづくりに与える影響



石川 智さん
作新学院大学 経営学部
スポーツマネジメント学科
教授

スポーツは、まちのブランド力を高めるためのコンテンツとして有効なものの一つだと考えています。スポーツは誰もが経験するものであり、皆さんにとって身近なものです。身近だからこそ、スポーツのイベントは人々の興味をひきやすく、盛り上がりを見せるのです。スポーツのイベントは、地域外の人を呼び込み経済効果を高めるほか、地域の一体感を生み、郷土愛を高める効果もあります。宇都宮には、プロスポーツチームや世界的なスポーツイベントがあり、とても恵まれています。ぜひ、皆さんにも参加してもらいたいですね。

作新学院大学スポーツマネジメント学科の学生は、これらのイベントにボランティアとして参加して、受付や誘導、立哨などの裏方の仕事を体験します。普段は、自分たちが頑張っているスポーツを、支える側にまわって裏方の苦労などを体験することは、とても勉強になり貴重な経験となります。

中学生の皆さんにも、ぜひボランティアとしてイベントに参加し、支える側の経験をして、普段から皆さんの活動を支えてくれる監督やコーチ、家族への感謝の気持ちを高めてほしいと思っています。

自転車のまちを目指して

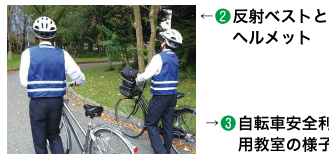
自転車は、老若男女問わず楽しめる乗り物です。健康や環境への関心が高まる中、全国的にサイクリストが増加しています。

宇都宮にも、自転車で楽しみたいという人のために、気軽に参加できるイベントやサポートしてくれる施設などがたくさんあります。

安全に自転車が使える

自転車通学 安全モデル校の清原中学校の取り組み

清原中学校では、ほとんどの生徒が自転車で通学しています。生徒たちの安全性を考慮し、市内でも先駆けて反射ベストやヘルメットの着用が義務化されました。清原中学校では、生徒会交通安全委員会が自転車点検を行うなどの取り組みが行われており、自転車通学安全モデル校(日本交通管理技術協会)に指定されています。



② 反射ベストとヘルメット

③ 自転車安全利用教室の様子

プロロードレースチームと連携した自転車安全利用教室

宇都宮では、「宇都宮ブリッセン」と連携して、中学・高校生を対象とした自転車安全利用教室を開催しています。正しい乗り方だけでなく、傘差し・二人乗り運転などの危険な乗り方をあえて体験してもらい、交通ルールの重要性を伝えています。



車道を安全に走るための道路整備

車道部分には、自転車専用通行帯^④を設けたり、自転車の通行位置や通行方向を矢羽根型路面^⑤表示で分かりやすく示したりするなどの工夫が見られます。



④ 自転車専用通行帯

⑤ 矢羽根型路面表示

自転車を安全かつ楽しく乗るためのサポートがたくさんあるんだね。



自転車利用をサポート

まち全体で、自転車利用をサポートする仕組みが整っています。

宇都宮自転車マップ

宇都宮市の観光スポットを巡るサイクリングルートを紹介しています。宮サイクルステーションや観光案内所などで配布されています。



⑥

宮サイクルステーション

各種レンタサイクルの他、休憩スペースやシャワー、トイレなどが完備されています。



⑦

自転車の駅

観光施設やコンビニエンスストア等に設けられており、駐輪ラックや無料貸出の空気入れなどが完備されています。



⑧

自転車でつながる

宇都宮では、多様な自転車利用を推進するため、河川沿いにサイクリングロードの整備が進められています。これにより、都市と各地域をつなげることが期待されています。

また、「サイクルアンドバスライド」という自転車に乗ってバスの停留所まで来てバスに乗り換えられる利用者のための駐輪場の整備なども進められています。



⑨ 整備されたサイクリングロード



⑩ 整備された駐輪場

人物紹介 自転車の魅力



左田 龍備さん
作新学院大学
自転車部

私は大学から宇都宮に来ましたが、私の地元と比べて宇都宮は道路が整備されていて街地も走りやすく、とても自転車に優しいまちだと感じました。また、自転車に乗る人たちの間にはあいさつを交わす習慣があり、年齢や性別に関係なく気軽に声をかけ合えるところが魅力の1つだと思います。

私のおすすめは、日光いろは坂や霧降高原です。登りはキツイですが、頂上での景色の良さや達成感など、自力で進める自転車のしか味わえない感覚があります。ぜひ体験してみてください。

総合型地域スポーツクラブ

地域スポーツは健康づくりを兼ねたまちづくり

いつでも・どこでも・誰でも参加できる総合型地域スポーツクラブは、世代や地域を超えた交流の場になっています。参加者の中には、クラブで地域の人と顔見知りになったことから、地域の活動に参加するようになったという人もいます。また、講師もプロにお願いするばかりではなく、地域の人材発掘も兼ねて、できるだけ地域の人をお願いしています。参加者の笑顔が教える喜びとなり、やりがいや生きがいにもつながっているようです。

こうしたクラブの運営をうまく生かしていくと、地域の活性化にもつながるかもしれません。さまざまな可能性を秘めた「総合型地域スポーツクラブ」。皆さんも仲間に加わってみませんか。

いろいろなクラブがあります



⑪ 豊郷元気！スポーツクラブ



⑫ スポルトかわち「Ship(シップ)」

雷都さんちの令和LIFE

作画 ゴマ七味



⑬ 家族みんなで地域スポーツクラブ

コラム

初代横綱は宇都宮市出身の力士だった?! 明石志賀之助

宇都宮出身で、江戸時代に活躍した力士。家光の時代に「日下開山」の称号を受け、初代横綱になったと言われています。市内にある蒲生神社には石碑が建てられており、境内には土俵が作られ、明石志賀之助の少年相撲大会が行われています。



⑭ 明石志賀之助像